

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4	特に無し	年6回ある、他事業所の運営推進会議に積極的に参加行う。	他事業所の管理者と密に連絡を取り合う。	3 か月	8月に行なわれる他事業所の運営推進会議に参加する予定となっている。
2	14	特に無し	外部研修に積極的に参加し、3ヶ月に1回のペースで関連団体の資料の貸し出しや講師派遣などを利用し、職員への学習の機会を増やしていく。	福岡県から届く研修案内を、職員に開示し興味のある研修に参加してもらったり、職員個人が興味のある研修を探し、参加している。また、研修内容を管理者で確認し、職員個人のスキルアップに必要と思われる研修に関しては、職員個人に提示し、積極的に参加してもらっている。	6 か月	外部研修を受けた職員による内部への伝達研修を、毎月1日のミーティングの際に行っている。
3	1	4月1日よりシフト制を無くし、2階・4階を全職員で介護する事になり、各階の入居者の状況や介助方法・業務内容などを把握することに重きを置いており、現場が落ち着いてないこともあるので、現時点で新たな理念を設定するのは難しい。	今年までに、各階の入居者の状況や業務内容などを全職員に把握していただき、新たな理念の作成を行う。	今後、毎月1日のミーティングにて、全職員が実行しやすい理念について、意見を出し合い作り上げていく予定。	8 か月	現時点では、現場が落ち着いていない事もあり、話し合いまで至っていない。
4	10	平日は就労されているご家族が多く、土日に関しては行事ごとが多いようで、運営推進会議の案内を出しても、ご家族の参加は難しい状況が続いている。	グループホームの年間行事予定表を作成行い、年末に家族へ郵送行う。年間行事の中に家族会(食事会)を半年に1回のペースで設定し、行事後に運営推進会議を開催する。	ご家族へ家族会(食事会)について説明行う。同じ施設に入所している家族同士の交流や情報交換をする場を、半年に1回は開催していきたい事をお伝えし、ご家族より意見を頂き開催に繋がるよう取り組んでいる。	12 か月	現在、聞き取り調査中。
5	2	特に無し	入居者のご家族・職員、さらには地域の皆様・子供達へ年1回の講座開設行う。	「認知症サポーター養成講座」・「福岡市キャラバン・メイト養成講座」の受講行う。	12 か月	7月11日「認知症サポーター養成講座」を職員2名受講済み。8月22日「福岡市キャラバン・メイト養成講座」を職員2名受講予定。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()